

## ▶台湾での LIB (Lithium Ion Battery : リチウムイオン電池) セミナー実施

2014年9月23日に台湾の經濟部(日本の経産省に相当)、電池協会、工業技術研究院(以下 ITRI: Industrial Technology Research Institute)のご支援を頂き、LIB分析/評価技術に関するプライベートセミナーを現地企業向けに開催しました。台湾電池協会(Taiwan Battery Association: 以下 TBA)は台湾政府指導のもと1996年に設立され、台湾企業を中心に40社以上が参画している大きな組織で、参画企業の中には日本企業をはじめとする海外からの企業が含まれることも協会の特徴のひとつです。

今回のセミナーは国内/韓国で非常に高い評価を頂いているLIBの*in situ*計測技術の台湾初公開を行いました。本セミナーを開催するにあたりTBAと事前打合せを実施しましたが、LIBの内部で充放電がどのように進んでいるのか視覚的に理解できる*in situ*測定動画に大きな衝撃を受けられたようです。このことから本セミナーの案内はTBAから台湾LIB関係企業へ広く発信頂けました。当社の発表内容の概略は、現在もTBAのホームページで(会員限定ながら)自由に確認する事が出来るそうです。

TBAとの協力体制が良好に構築できた背景には、以前から当社が培ってきたITRIとの良好な関係があったことも大きかったと実感しております。

セミナー当日は我々の予想を上回る80名あまりのご参加を頂き、急遽会場を大きなものに変更するなど大盛況となり、予備の資料を全て使い切ることとなりました。今回は当社大阪ラボの技術者による講演に加え、*in situ*計測を可能とした計測機器を開発したレーザーテック株式会社(以下 L&T)の技術者による講演もあって、より深くご理解頂けることができたと思っております。また台湾での打ち合わせ等では日常茶飯事ですが、質疑応答の時間で、中国語、英語、日本語などが飛び交い、当社の台湾駐在員の通訳が間に合わない場面がでてきます。このような場面ではご参加頂いた中で日本語が堪能なお客様に助けて頂くなど、親切的な台湾ならではの光景もありました。

台湾のLIB技術に関しては既に新聞等で発表されております通り、製造販売ライセンスを日本企業が独占契約した熱暴走を抑制する添加剤STOBA®\*をITRI

が開発するなど、最先端技術を有しております。意外と知られてはおりませんが、電気自動車で有名な米国テスラ社の電気部品の多くは台湾企業が供給しており、周辺部品を含めた技術力には高いものがあります。また、直近では水素燃料電池スクーターの実用化に向けた研究発表があり、将来に向けた開発も進められています。台湾名物の道路を埋め尽くすスクーターが電動化し、排気ガスや騒音の無い台湾となるのも、そう遠い未来ではないかもしれません。

今後とも日系台湾現地法人や台湾企業へ分析サービスを提供することで、微力ながら両国の発展に貢献できることを願っております。

※STOBA® (ITRIが開発したナノサイズの樹木状構造を持つ機能性ポリマーであり、LIB異常発生の高温時になると被膜を形成し、リチウムイオンの移動を抑制することで電池を安全に停止させる)



東京営業所 TEL 03-5689-1211  
名古屋営業所 TEL 052-952-8969  
大阪営業所 TEL 06-6202-1000  
千葉営業部・千葉事業所 TEL 0438-64-2281  
広島営業部 TEL 082-555-8441  
愛媛営業部・愛媛事業所 TEL 0897-32-3411  
大分営業部・大分事業所 TEL 097-523-1181  
福岡営業部 TEL 092-737-5303  
宇都宮営業部 TEL 028-688-8887  
医薬事業本部 営業部(東京) TEL 03-5689-1217  
医薬事業本部 営業部(大阪) TEL 06-6202-1801  
筑波事業所 TEL 029-864-4741  
大阪事業所 TEL 06-6466-5247  
技術開発センター TEL 06-6466-6483  
医薬事業本部 ファーマ大阪事業所 TEL 06-6466-5247  
医薬事業本部 ファーマ淀川事業所 TEL 06-6302-3100  
医薬事業本部 ファーマ大分事業所 TEL 097-523-1964  
医薬事業本部 バイオ技術センター TEL 06-6466-5251

(株)エンバイロソリューションズ TEL 03-5689-1220  
SCAS SINGAPORE PTE LTD TEL +65-6899-3819  
住化分析技術(上海)有限公司 TEL +86-21-5677-8181  
SCAS Europe S.A./N.V. TEL +32-2-719-04-75  
(株)SCAS-BTTバイオアナリティクス TEL +82-43-210-7730  
(株)SCAS 韓国 TEL +82-31-605-7631  
台湾住化分析中心股份有限公司 TEL +886-3-573-0996

## 編 集 後 記

SCAS NEWS 2015-1号(通巻第41号)をお届けします。今回号のキーワードは、「可視化と分析」です。

冒頭言に、東京大学名誉教授 尾嶋正治先生より、「理想系から現実系へ、可視化さらにオバランド放射光解析へ」と題して、放射光の進化に伴い動作環境下でのオバランド解析の実現が進む様子と今後の展望をご紹介頂きました。また九州工業大学助教 渡邊晃彦先生、同教授 大村一郎先生より、「パワーストックの高信頼性を促進す

るリアルタイム・モニタリング技術」と題して、パワーストックの故障に至るメカニズムを可視化する技術を詳しく解説頂きました。さらに、当社が総力を挙げて取り組む可視化技術の最前線についてリチウムイオン電池等の成果で詳述したほか、トピックス、法律ウォッチャー等を紹介させて頂きました。

今後もお客様のご期待に応えられるよう当社の最新分析技術情報を提供してまいりますので、ご愛読の程をよろしくお願いたします。

編集・発行 株式会社住化分析センター  
発行日 2015.2.27 2015-1 (通巻41号)  
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-17  
TEL06-6202-1807 FAX06-6202-0116  
ホームページ <http://www.scas.co.jp>  
SCAS NEWS に関するお問合せ・ご連絡  
e-mail: [scasnews@scas.co.jp](mailto:scasnews@scas.co.jp)  
(無断転載禁止)

**SCAS** Sumika Chemical  
Analysis Service  
株式会社 住化分析センター

はインシユタインの疑問符です。彼のあくなき好奇心と探求心こそが、宇宙真理発見の原動力だったのかも知れません。